

先日の土曜日、「3D プリンターの入門講習会」を開催しました。辻 健先生（筑波大学附属小学校教諭）の呼びかけで実現したものです。当研究所のスタッフも含めて15名の参加がありました。

私自身も3Dプリンターに出会ってからまだ8か月目で、分類上は初心者に近い存在です。しかし、同じ研究所の大崎研究員の熱心な指導助言のおかげで、ここ数か月は「作れないものはない！」と（勝手に）思うほど、頭の中で思い描いたものを立体に表現できるようになってきました。しかし、そのスキルを他者に伝えるという経験は0（ゼロ）だったので、今回は誠に好機となりました。

用意した3Dプリンターは4台、設計に使うノートPCは各自持参してもらいました。設計の基本から説明し、ごく簡単な「箱」や「ペンダント」など、各参加者がその場で設計したものを、3Dプリンターで印刷・完成させることができました。自分で設計したものが、初めて3Dプリンターで立体物になる一瞬は、本当に感動するものです。

「思いついたものを、とにかく設計して作ってみる。それが確実にスキルアップにつながる」「教材の一部は、買う時代から作る時代になる」といった話もさせていただきました。今後は各学校や施設での講習会も積極的にしたいと思っていますので、どうぞお声がけください。

（2025年4月上旬／お茶の水女子大学・音羽実習室）

